

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ピムコ世界金融ハイブリッド証券戦略ファンド（毎月決算型・通貨プレミアム）」は、2020年2月17日に第47期決算を行いました。

当ファンドは、主として外国投資信託証券「ピムコバミューダキャピタルセキュリティーズファンドCークラスJ（C-U S D）（バミューダ籍・円建て）」への投資を通じて、主に世界の金融機関が発行するC o C o債等のハイブリッド証券に投資することで、安定した利子収入の獲得と信託財産の成長を図ることをめざして運用を行いました。また、米ドル（対円）にかかるコールオプションの売りを行うカバードコール戦略により、オプションプレミアム収入を獲得することにより、損失の軽減や利益の上乗せをめざしました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第47期末(2020年2月17日)

基準価額	8,822円
純資産総額	4,784百万円
第42期～第47期	
騰落率	12.3%
分配金(税込み)合計	480円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ 「ファンド情報」 ⇒ 「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

ピムコ世界金融 ハイブリッド証券戦略ファンド （毎月決算型・通貨プレミアム）

追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）

交付運用報告書

第8作成期

第42期（決算日2019年9月17日） 第43期（決算日2019年10月17日）

第44期（決算日2019年11月18日） 第45期（決算日2019年12月17日）

第46期（決算日2020年1月17日） 第47期（決算日2020年2月17日）

作成対象期間（2019年8月20日～2020年2月17日）

 **SBI Asset Management**

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

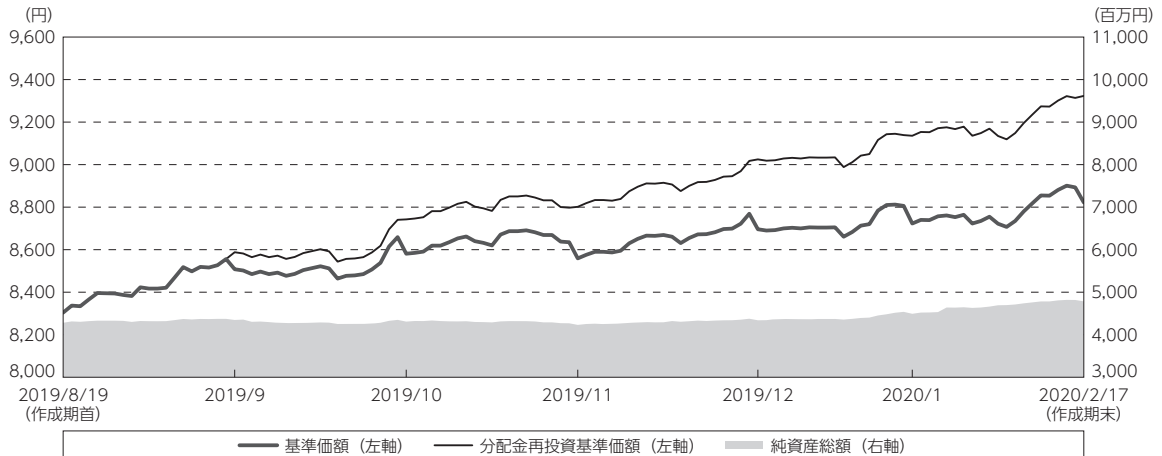
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2019年8月20日～2020年2月17日)



第42期首：8,304円

第47期末：8,822円 (既払分配金(税込み)：480円)

騰落率：12.3% (分配金再投資ベース)

(注1) 当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に分散投資を行い、安定した利子収入の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年8月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期の期初は、香港の大規模な反政府デモや欧州の軟調な経済指標などを受けて、投資家のリスク回避姿勢が高まりました。債券が買い進められたことで金融ハイブリッド証券市場が上昇し、当ファンドの基準価額は、緩やかな上昇基調で始まりしました。

その後、米中貿易摩擦や英国の欧州連合(EU)離脱をめぐる懸念の後退やイタリアで連立政権樹立が承認されたことなどから投資家心理が改善したほか、米連邦公開市場委員会(FOMC)にて利下げが実施され、金利低下(価格上昇)を通じて当ファンドの基準価額は上昇基調を維持しました。10月に入ると、英国とアイルランドの首脳会談にて、EU離脱をめぐる合意に向けた道筋が見出せるとの見解で一致したことや、EU側と英国側の交渉官が建設的な話し合いを行ったとの報道が好感されました。米国では3会合連続となる利下げが実施されましたが、利下げ停止が示唆されたことで金融機関の収益見通しに安心感が広がり、当ファンドの基準価額が上昇しました。

期末にかけては、発表された米雇用統計が市場予想を上回ったことや、米中通商協議の合意観測が高まったことに加えて、ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁がドイツやオランダの財政政策への期待に言

及し、ユーロ圏内の景気底入れ期待が高まったことなどが材料視され、大きく上昇しました。その後、米中通商協議において「第1段階」の原則合意に達したとの報道が好感されたほか、ECB総裁が2020年のユーロ圏経済に楽観的な見通しを示したことを受けて上昇したことから、当ファンドは上昇基調を維持して決算日を迎えました。

1万口当たりの費用明細

(2019年8月20日～2020年2月17日)

項 目	第42期～第47期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	86	1.004	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(52)	(0.607)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.383)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.029	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(2)	(0.024)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	89	1.033	
作成期中の平均基準価額は、8,608円です。			

(注1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

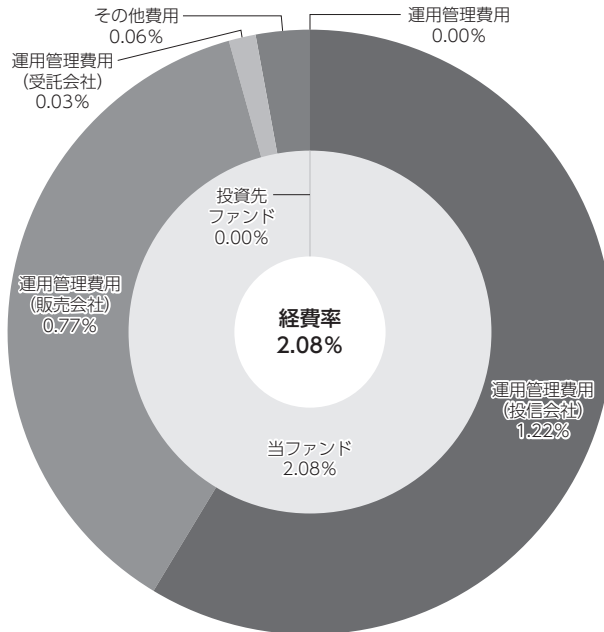
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は2.08%です。



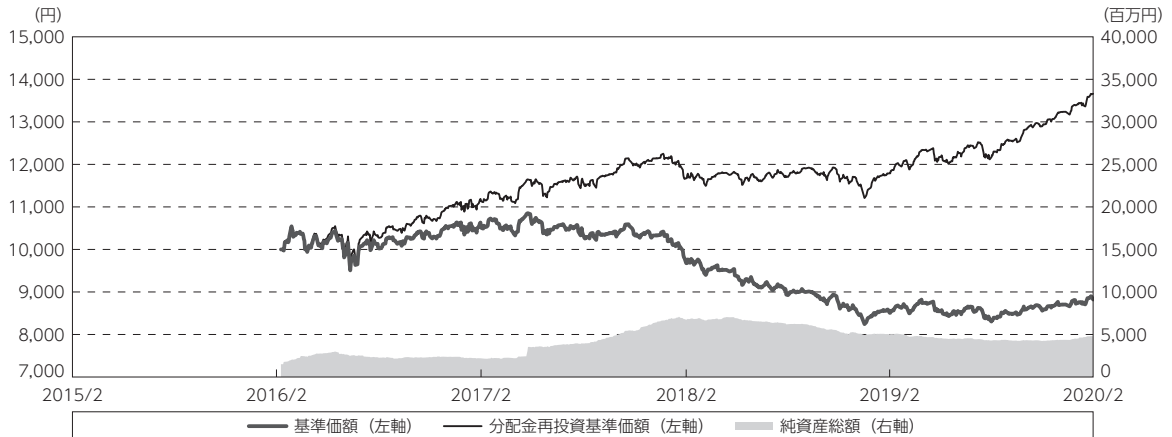
(単位: %)

経費率(①+②)	2.08
①当ファンドの費用の比率	2.08
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00

- (注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
 (注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。
 (注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
 (注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。
 (注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
 (注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
 (注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年2月17日～2020年2月17日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2016年2月26日から2020年2月17日)のみの記載となっております。

	2016年2月26日 設定日	2017年2月17日 決算日	2018年2月19日 決算日	2019年2月18日 決算日	2020年2月17日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,511	9,677	8,509	8,822
期間分配金合計(税込み) (円)	—	590	1,350	1,260	960
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.3	4.9	1.0	15.9
純資産総額 (百万円)	1,506	2,187	6,731	5,011	4,784

- (注1) 当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に分散投資を行い、安定した利子収入の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。
 (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2017年2月17日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2019年8月20日～2020年2月17日)

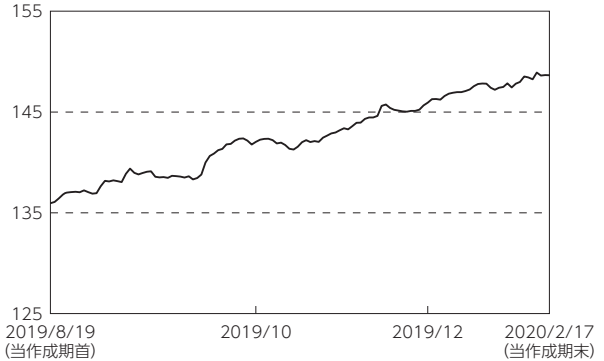
※以下のコメントの内容は、ピムコ社からのコメントを基にSBIアセットマネジメントが編集したものです。

【CoCo債市況】

米中が通商協議において「第1段階」の原則合意に達したことや、英国とEUの離脱協定案が合意されたことがプラス要因となり、当作成期を通じて金融ハイブリッド証券市場は上昇しました。

また、ラガルドECB総裁が2020年のユーロ圏経済に楽観的な見通しを示したことなどをを受けて、投資家のリスク回避姿勢が後退したこともプラス要因となりました。

【CoCo債指数の推移】

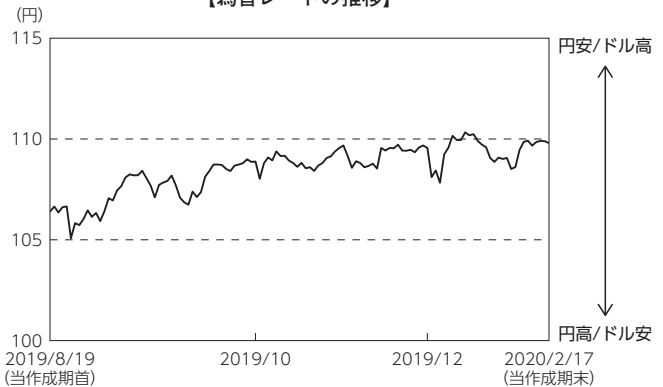


出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
 (注) CoCo債指数はICE BofAメリルリンチ・コンティンジェント・キャピタル・インデックスを使用

【為替市況】

当作成期においては、米中の貿易摩擦に対する懸念が後退したことや、主要な米経済指標がおおむね堅調だったことなどを背景に、投資家のリスク選好姿勢が強まり、ドル高・円安基調で推移しました。

【為替レートの推移】



(注) 為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年8月20日～2020年2月17日)

<当ファンド>

「ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドCークラスJ (C-USD) (バミューダ籍・円建て)」への投資を通じて、主に世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に分散投資を行い、安定した利子収入の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。

<ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドCークラスJ (C-USD) (バミューダ籍・円建て) >

金融機関が発行するCoCo債(偶発転換証券)などのハイブリッド証券を主要投資対象とし、金利収入の確保と信託財産の中長期的な成長をめざしました。また、米ドル(対円)のカバードコール戦略を行い、オプション料(プレミアム)の追加的な収益の獲得をめざして運用いたしました。

なお、直近1月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。

ポートフォリオ構成

平均格付け	B B B
平均デュレーション	3.66年
平均最終利回り	5.72%
平均クーポン	5.68%
平均直利	4.80%
銘柄数	94銘柄
プレミアム	6.74%

- (注1) 平均格付とは、基準日時点での当ファンドの組入投資信託証券にかかる信用格付を加重平均したものです。そのため、当ファンドにかかる格付ではありません。
- (注2) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す指標です。金利変動に対する債券価格の反応度(リスクの大きさ)を表しています。なお、デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。
- (注3) 最終利回りは、債券購入日から償還日までに得る受取利息や償還差損益(額面と購入価額の差)等、合計額が投資元本に対して1年あたりどの程度となるかを示すものです。
- (注4) クーポンとは、額面金額に対する単年での利息の割合を表します。
- (注5) 平均直利とは、平均時価単価に対する平均クーポンの割合です。
- (注6) プレミアムとは、純資産に対する年率調整後のオプションプレミアム収入です。

債券種別構成比率

CoCo債	61.6%
優先証券	18.1%
金融シニア債	8.3%
劣後債	3.9%
その他債券	-1.3%
その他	9.5%

- (注1) 比率は純資産総額に対する割合です。
- (注2) CoCo債にはバーゼルⅢ対応型劣後債を含みます。

格付分布

A A A格	16.2%
A A格	2.0%
A格	0.7%
B B B格	25.5%
B B格	52.1%
B格以下	3.5%

- (注1) 比率は純資産総額に対する割合です。
- (注2) ピムコによる社内格付を含みます。

国・地域別構成比率

英国	24.0%
米国	18.4%
スペイン	14.8%
オランダ	8.7%
イタリア	7.4%
その他	26.8%

- (注1) 比率は純資産総額に対する割合です。
- (注2) 国・地域はピムコの分類によるものです。

※上表については、ピムコ(PIMCO: パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー)の資料を基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

<FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)>

主要投資対象である「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券を高位に組入れ、これを維持しました。

「短期金融資産 マザーファンド」において、日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化するなか、国債と比較してより利回りの高い非国債セクターの保有短期債の満期償還以降は、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年8月20日～2020年2月17日)

当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に分散投資を行い、安定した利子収入の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数なども記載していません。

分配金

(2019年8月20日～2020年2月17日)

当作成期の分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、基準価額水準や市況動向などを勘案し、下表の通りといたしました。

なお、分配にあてずに信託財産内に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万円当たり、税込み)

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2019年8月20日～ 2019年9月17日	2019年9月18日～ 2019年10月17日	2019年10月18日～ 2019年11月18日	2019年11月19日～ 2019年12月17日	2019年12月18日～ 2020年1月17日	2020年1月18日～ 2020年2月17日
当期分配金	80	80	80	80	80	80
(対基準価額比率)	0.932%	0.924%	0.926%	0.912%	0.909%	0.899%
当期の収益	80	80	80	80	80	80
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	5,647	5,814	5,986	6,164	6,207	6,256

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、主として「ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドCークラス」(C-USD)(バミューダ籍・円建て)への投資を通じて、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に分散投資を行い、安定した利子収入の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。

<ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドCークラスJ (C-USD) (バミューダ籍・円建て) >

当該外国投資信託を運用している、ピムコ社(PIMCO = Pacific Investment Management Company LLC)は、以下のようにコメントをしています。

2020年中に世界経済の減速期間は終息に向かい、緩やかな回復局面に転じるとみています。米中間の貿易協議や米大統領選挙、新興国の政治などをめぐる不確実性は、引き続き世界貿易や製造業活動、企業投資の重しになる可能性があるものの、米中通商協議の部分合意や米国をはじめとする各国政府や中央銀行の金融緩和策、財政政策が最終的には効果を発揮し、2020年後半には成長が緩やかながらも再加速すると予想しています。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済の見通しに対する不確実性は高まっており、今後の経済や金融市場に与える影響には注意が必要です。

主な投資対象である大手金融機関については、引き続き財務健全化のトレンドが追い風となりファンダメンタルズが良好な環境が続くとみられます。大手金融機関は、リーマン・ショックのような世界金融危機を未然に回避する目的で導入された自己資本規制(パーゼルⅢ)に対応するため、不良債権処理を進め自己資本を増強し、財務健全性を高めてきました。このパーゼルⅢは2019年より完全適用となりましたが、今後も自己資本規制の厳格化が段階的に予定されており、金融機関の財務健全化のトレンドは当面継続すると予想されます。もちろん、貿易摩擦や英国のEU離脱などの動向によっては、金融機関に対する懸念が高まることも想定されます。しかしながら、先進国の中央銀行などの金融当局が実施するストレステストでも確認されているように、大手金融機関は金融危機が再来しても耐えうる財務健全性を有しているとみられ、大手金融機関への影響は限定的にとどまるとみられます。

金融ハイブリッド証券運用にあたっては、各国で金融規制の導入の仕方にばらつきがあることに加え、金融機関においてもビジネスモデルや保有資産、資本水準などが大きく異なることから、当ファンドでは発行体選択や銘柄選択を重視しています。具体的には、財務健全性が高いとみられる英国やファンダメンタルズの改善に対して割安とみられるスペインなどの金融機関等へ投資を行う方針です。

<FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)>

主として、短期金融資産 マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等(短期公社債及び短期金融商品を含みます。)を中心に投資を行います。

お知らせ

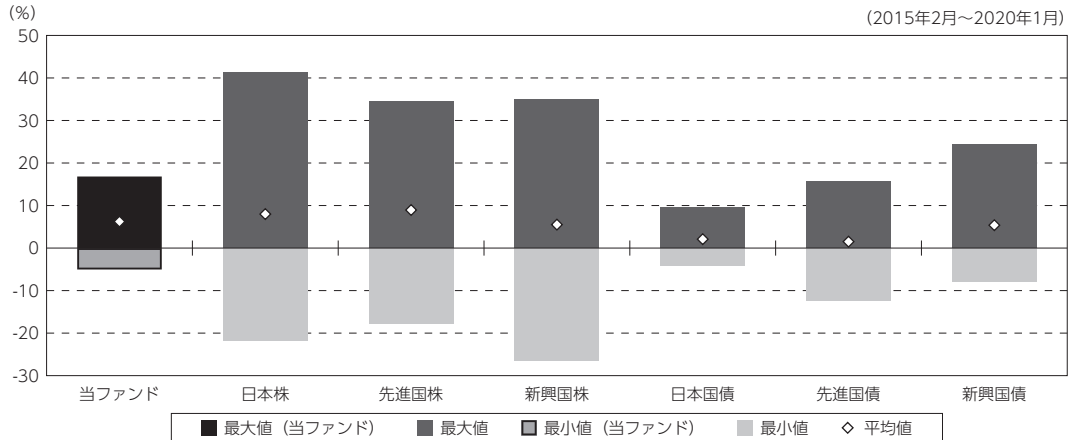
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）
信託期間	2026年2月17日まで（設定日：2016年2月26日）
運用方針	安定的な配当等収益の確保及び信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。
主要投資対象	外国投資信託である「ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドC-クラス」（C-USD）（バミューダ籍・円建て）及び国内の証券投資信託である「F O F s 用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として外国投資信託である「ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドC-クラス」（C-USD）（バミューダ籍・円建て）への投資を通じ、世界の金融機関が発行するC o C o債等のハイブリッド証券等に投資するとともに、円に対する米ドルのコールオプションを売却し、オプションプレミアム収入の獲得をめざすカバードコール戦略を活用し、安定的な配当収入の確保をめざします。
分配方針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配対象額の範囲は経費控除後の配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配対象額については委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	16.8	41.2	34.5	35.0	9.5	15.7	24.5
最小値	△ 5.0	△ 21.7	△ 17.6	△ 26.4	△ 4.1	△ 12.3	△ 8.0
平均値	6.2	8.0	8.9	5.5	2.1	1.5	5.4

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2015年2月から2020年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2016年2月26日(設定日)から2020年1月31日のデータを基に算出しております。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注5) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

- 日本株…Morningstar 日本株式
- 先進国株…Morningstar 先進国株式 (除く日本)
- 新興国株…Morningstar 新興国株式
- 日本国債…Morningstar 日本国債
- 先進国債…Morningstar グローバル国債 (除く日本)
- 新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年2月17日現在)

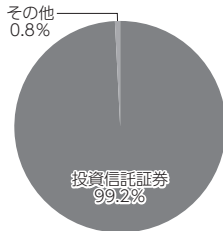
○組入上位ファンド

銘柄名	第47期末
	%
ピムコバミューダキャピタルセキュリティーズファンドC-クラスJ(C-USD)(バミューダ籍円建て)	99.2
F O F s 用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.0
組入銘柄数	2銘柄

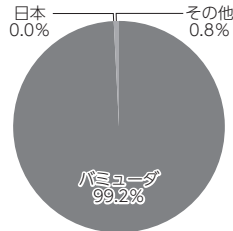
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

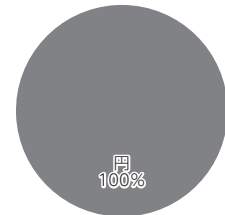
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項目	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
	2019年9月17日	2019年10月17日	2019年11月18日	2019年12月17日	2020年1月17日	2020年2月17日
純資産総額	4,347,101,694円	4,308,355,962円	4,231,142,111円	4,339,480,105円	4,492,326,200円	4,784,733,889円
受益権総口数	5,109,693,789口	5,020,994,179口	4,943,495,872口	4,990,170,514口	5,149,757,968口	5,423,668,119口
1万口当たり基準価額	8,508円	8,581円	8,559円	8,696円	8,723円	8,822円

(注) 作成中における追加設定元本額は726,308,081円、同解約元本額は457,796,096円です。

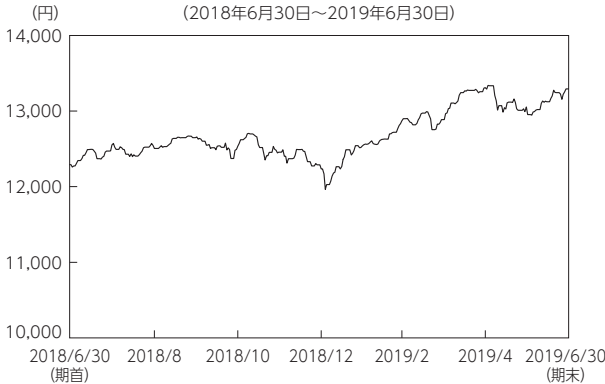
組入上位ファンドの概要

ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドC-クラスJ (C-USD) (バミューダ籍・円建て)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。

【分配金再投資基準価額の推移】

(2018年6月30日～2019年6月30日)



【1万口当たりの費用明細】

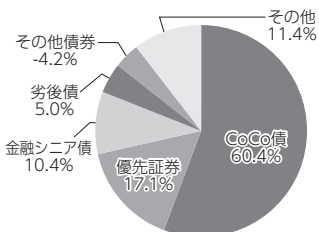
入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

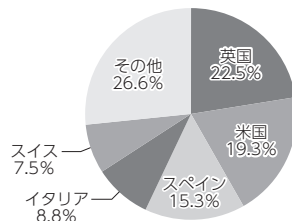
(2019年6月30日現在)

銘柄名	国 / 地域	比率
1 ラボバンク	オランダ	5.0%
2 ネーションワイド・ビルディング・ソサエティー	英国	4.4%
3 インターザ・サンパオロ・エッセ・ピー・ア	イタリア	3.7%
4 KBC銀行	ベルギー	3.6%
5 HSBC	英国	3.5%
6 サンタンデール銀行	スペイン	3.5%
7 パークレイズ	英国	3.4%
8 ロイズ バンキング グループ	英国	3.0%
9 サンタンデール銀行	英国	2.7%
10 ビルパオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行	スペイン	2.7%
組入銘柄数	88銘柄	

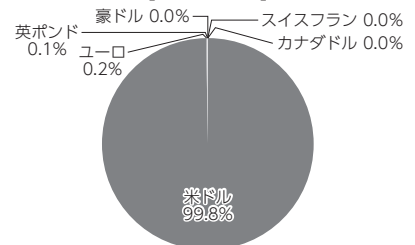
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



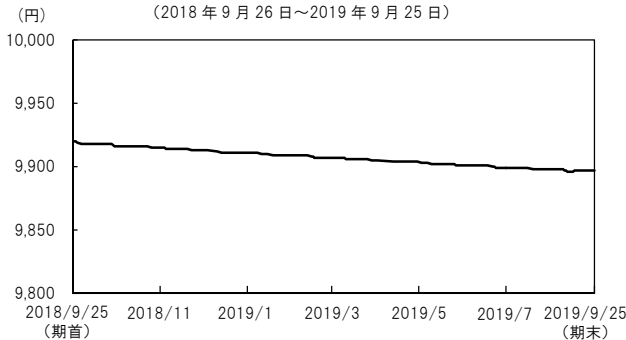
(注1) 資産別・国別・通貨別配分は、2019年6月30日現在のものです。

(注2) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分の比率は投資信託証券の評価額合計に対する割合です。

FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年9月26日～2019年9月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	14 (11) (1) (2)	0.140 (0.108) (0.011) (0.022)
(b) その他費用 (監査費用) (その他)	1 (1) (0)	0.008 (0.005) (0.003)
合計	15	0.148

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

当期末における該当事項はありません。

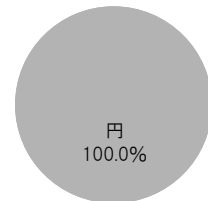
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2019年9月25日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は、「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」の直近の決算期のものです。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」の組入ファンドである「短期金融資産 マザーファンド」のデータです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 「短期金融資産 マザーファンド」において、日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化するなか、国債と比較してより利回りの高い非国債セクターの保有短期債の満期償還以降は、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。